

音楽聴取に対する聴力損失ならびに補聴器装用の影響

Effects of Hearing Loss and Hearing Aids on the Perception of Music

聴覚研究の分野で世界をリードしてきたブライアン・ムーア (Brian C. J. Moore)ケンブリッジ大学名誉教授による特別講演を下記の要領で実施します。

研究者以外の方でも、聴力障害や音楽聴取に興味を持っておられる方は是非ご参加下さい。

講演に際しては、京都市立芸術大学音楽学部・音楽研究科の学生による演奏と、その演奏に模擬難聴処理をした音の体験などのコーナーも設け、分かりやすく聴覚の仕組みを理解していただき、補聴技術の難しさについても納得していただく機会を作りたいと思っています。

(参加費無料。通訳つきです!)

参加申込はこちらからどうぞ。 <https://goo.gl/5izpvE>

この申込をしなくても参加は可能ですが、大凡の参加者数を事前に把握したいのでご協力いただけると幸いです。



日時： 2018年10月14日 (日)
14:50 - 17:00
(開場時刻 14:20)
場所： 京都市立芸術大学 講堂
(京都府京都市西京区大枝沓掛町13-6)



アクセス：

京都駅より、京阪交通バスC2のりばで京阪京都交通バス 2・14・28 系統に乗車、芸大前（約45分）で下車。バス停から徒歩ですぐ。

阪急桂駅より、京阪京都交通バス1・2・13・14・25・28 系統に乗車、芸大前（約20分）で下車。バス停から徒歩ですぐ。

(アクセス詳細はこのURLから。 <http://www.kcua.ac.jp/access/>)

※ 一般用の駐車場はありませんので、公共交通機関でのご来場をお願いします。



以下のような謎に興味のある方にお勧めです

- なぜ聴力は衰えるの？
- 聴力検査では問題ないと言われたのに音の聞き取りが悪くなったと思うことがあるのはなぜ？
- 補聴器は使いづらいと感じるのはなぜ？
- なぜ補聴器は老眼鏡ほど普及しないの？
- 聞こえにくいと言うからボリュームを上げたのにうるさがられるのはなぜ？
- 楽しいと思って聞けていた音楽が楽しめなくなるのはなぜ？
- 耳がボケるってどういうこと？
- 音楽家は難聴になりやすいの？

お問い合わせ先： 津崎実（京都市立芸術大学）
SL-bcjm@kcua.ac.jp
075-334-2264

主催：日本音響学会関西支部
共催：京都市立芸術大学